

平成23年第2回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成23年第2回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議員名	党及び会派名
6月21日	1	西川誠之	みんな・一新
	2	阿部治正	社会民主党
	3	田中人実	公明党
	4	中川弘	流政会
	5	宮田一成	流政会
	6	酒井睦夫	みんな・一新
6月22日	7	斉藤真理	公明党
	8	伊藤實	流政会
	9	海老原功一	自由民主党・民主党
	10	松尾澄子	公明党
	11	松野豊	流政会
6月23日	12	加藤啓子	みんな・一新
	13	乾紳一郎	日本共産党
	14	植田和子	日本共産党
	15	徳増記代子	日本共産党
	16	小田桐仙	日本共産党
6月24日	17	松田浩三	自由民主党・民主党
	18	楠山栄子	社会民主党
	19	笠原久恵	流政会
	20	森亮二	流政会
	21	秋間高義	公明党

質問事項	要 旨
<p>1 防災対策（洪水・地震）の見直し・改定について</p>	<p>(1) 本市の「洪水ハザードマップ」(平成18年4月発行)・「地震ハザードマップ」(平成21年3月発行)はすでに市民に行き渡っていると考えます。しかし今回の東日本大震災のようなマグニチュード9.0、震度7プラス「大津波」、更に直下型地震などは想定されていない。よって以下について問う。</p> <p>ア これを機会に東京湾が「津波」の通路となりかねない「東海地震」「東南海地震」や「東京湾北部直下型地震」などを想定して再点検すべきと考えますがどうか。</p> <p>イ 計画を見直す場合、どこにポイントを置くのか。また、いつまでに改定する予定か。</p>
<p>2 市内の冠水対策について</p>	<p>(1) 本市は江戸川に沿って南北に長く、そこに流れ込む河川の影響もあり、流末処理が充分整備されているとは言えず、市内の「冠水箇所」が多数あると聞いている。現状について以下のとおり問う。</p> <p>ア 市内で冠水する地区は何か所あるのか。</p> <p>イ 市内地域別にはどのような状況にあるのか。</p> <p>ウ 冠水対策について、今までどのような内容を市民に公表しているのか。</p> <p>エ 冠水に対する市の対応は、現在どのようなになっているのか。</p> <p>オ 水防パトロールの状況とその役割について問う。</p>
<p>3 東部地域のインフラ整備の遅れについて</p>	<p>(1) 松戸・柏両市に接する「東部地区」に住んでいる方々は、一様に「市中央から見放された地域」・「公共サービスが不公平」と日ごろから感じている。そこで以下について問う。</p> <p>ア そのように地域住民が感じていることについて市長はどう認識しているのか。</p> <p>イ 都市計画道路3・4・10号(市野谷・向小金新田線)の事業を断念すると聞いているが、そこまで至る経緯と今後の方向性について問う。</p> <p>ウ 名都借跨線橋の拡幅について問う。</p> <p>エ 下水道整備計画の進捗状況について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 東京電力福島第1原子力発電所の事故に伴う流山市の放射能汚染への対応策について</p>	<p>(1) 市長が安全の指針として繰り返し表明してきた「年間20ミリシーベルト」「毎時3.8マイクロシーベルト」の根拠を問う。</p> <p>(2) 日本の法律、国内・国外の専門家の批判、5月27日の文部科学省の新しい目標を真摯に受け止めて、また子どもたちの安全を重視して、年間1ミリシーベルト以下、毎時0.114マイクロシーベルト以下をめざすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 流山市内の放射線量の測定のあり方について ア 流山市が行っている測定は、測定地点（地表面や、芝生・草地・植栽などが含まれていない）、測定方法（クロスチェックが不十分）、測定対象（土壌・農産物などが含まれていない）などについて改善が必要と考えるがどうか。 イ 県による測定に対しては、放射性物質の核種の調査なども対象に加え、かつ継続的に行うよう求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 市民と子どもの安全対策について ア 学校、幼稚園、保育所（園）、公園などで、毎時1.0マイクロシーベルト以上の線量が確認される場所は直ちに除染すべきと考えるがどうか。また放射線管理区域と同様の毎時0.6マイクロシーベルト以上の線量が継続して確認される土壌では、まずは注意喚起の表示、そして速やかな除染作業が必要と考えるがどうか。 イ 学校、幼稚園、保育所（園）、公園などでの子どもや教職員の活動について、健康への影響を配慮したさらにきめ細かな注意・指導が必要と考えるがどうか。</p>
<p>2 内水浸水に対する対策について</p>	<p>(1) かつては50年に1度と言われたような集中豪雨が毎年のように多発するようになった近年、流山市内の水害、なかでも内水浸水の現状についてどうとらえているのか。</p> <p>(2) 内水浸水を防ぐためには工事や施設整備が重要であることは言うまでもないが、ソフト面の対策の一環として、浸水が繰り返される箇所、予想される箇所、浸水の程度などを市民にわかりやすく説明した内水浸水マップが求められていると思うがどうか。</p>
<p>3 新東谷調整池整備工事に伴うスポーツ施設整備について</p>	<p>(1) 新東谷調整池に付属して整備が進められている児童公園・グラウンドは、市民の健康維持・交流の場として期待を集めている。その意義を踏まえて、少年野球の施設整備においても、ベンチ、倉庫などを整える措置があるべきと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 東日本大震災を踏まえた財政運営と今後の行財政改革の方針について市長に問う</p>	<p>(1) 6月7日の会派懇談会の席上、執行部から国の国庫補助金が8%減額される予定との話があった。また、東日本大震災の復旧、復興に向けた財源確保のため野田財務相が公共事業・施設費の5%分の執行を留保する方針を示したのを受け4月1日、国土交通省は自治体への社会資本整備総合交付金は、あらかじめ5%分を削った上で各自治体に配ることを発表されている。そこで、本市の平成23年度一般会計予算の影響と財政運営について問う。</p> <p>ア 本市において削減され留保される補助対象事業と影響額について</p> <p>イ 補助対象事業の留保分の財源の手当はどのようにされるのか。</p> <p>(2) 東日本大震災により景気が悪化し、今年度の市税の徴収の落ち込みや来年度の歳入の減額が予想される。これまで以上に行財政改革に取り組む必要があると思うが今後の方針について問う。</p> <p>ア 平成23年度の事業で見直すべき事業について</p> <p>イ 市内経済を守る観点から行財政改革を進めるべきと思うがどうか。</p>
<p>2 流山市市民参加条例について</p>	<p>(1) 本年2月に流山市市民参加条例検討委員会から提言書が提出された。来年3月議会での条例提案を目指すとしているが条例案策定までの今後のプロセスとスケジュールについて問う。</p>
<p>3 子育て支援策について</p>	<p>(1) 保育園と学童クラブの待機児童解消の現状と見通しについて問う。</p> <p>ア 「待機児童ゼロ計画」によりどの程度待機児童解消が図られるのか。</p> <p>イ 借り上げ方式の保育園の増設について</p> <p>ウ 学童クラブの増設と定員増について</p>
<p>4 福祉行政について</p>	<p>(1) 3月議会で提案した仮称「まごころベンチ」の設置についての検討経過について</p>
<p>5 南部地域の市民要望について</p>	<p>(1) 公共施設の常設の資源物回収スペースの設置の検討経過について</p> <p>(2) 南流山駅周辺の自転車駐車場の建設についてその後の進捗状況について</p> <p>(3) 都市計画道路3・4・35号木流山線の南流山2丁目15番地の10地先交差点の信号機および横断歩道設置の見通しについて</p> <p>(4) 木地区の水路が区画整理事業のため分断され、排水できない状況にあるが対応策について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 当市のリスクマネジメントと事業継続計画(BCP)について問う</p>	<p>(1) この度の東日本大震災では想定を大きく上回る規模であった為に自治体そのものが被災し行政サービスが継続できない事態に陥った。当市でもその可能性がある以上それに備えた対策が必要であり、その現状と今後の対応について問う。</p> <p>ア 地方自治体におけるリスクマネジメント及び事業継続計画とは何か、現在の市当局の認識はどうか。</p> <p>イ 現在の状況はその認識に対して十分なものと言えるのか。またどのような課題があると認識しているのか。</p> <p>ウ 今後、リスクマネジメントと事業継続計画(BCP)についてどのように取り組んで行くのか。</p>
<p>2 新たな姉妹都市協定締結の方針について問う</p>	<p>(1) 市長は先の臨時議会で新たな災害時応援協定締結を目指すと答弁したが、日常の交流も無くそれを実現する事は困難であり姉妹都市協定の締結により先ず絆を結ぶべきであると考え。そこで今後の新たな姉妹都市協定締結に向けた当局の取り組み方針について問う。</p> <p>ア 市長が推進してきたオランダの都市との国際友好姉妹都市協定締結の現在の状況はどうなっているか。</p> <p>イ 市当局はその現状についてどのような問題があると認識しているのか。</p> <p>ウ 姉妹都市としてのパートナー探しを具体的にどのように進めるのか。</p> <p>エ 姉妹都市として先ず重要なのは日頃の付き合いであると考え。これまでの当市の姉妹都市、友好都市との交流は十分であったと認識しているか。</p> <p>オ 新たなパートナー探しの前にすでに友好都市として長年付き合いのある石川県能登町、岩手県北上市と先ず姉妹都市協定締結を目指すべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 東日本大震災後の本市の取り組みについて</p>	<p>(1) 流山市議会が提出した市長への要望書について問う。</p> <p>(2) 震災当日の本市の通信環境はどのような状況であったか。また固定電話、携帯電話、メール等の利用状況は、どうであったか。</p> <p>(3) 学校、幼稚園、保育所（園）、公園等の公共の地表や、同一敷地内における複数箇所での放射線測定の必要性について問う。</p> <p>(4) 近県では浄水場の焼却汚泥から高濃度の放射性物質が発見されているが、本市（森のまちエコセンターの汚泥）の状況について問う。</p> <p>(5) 今年の夏には、大幅な節電を要求される予定だが、計画停電に対する対応について市はどう考えているのか。</p> <p>(6) 今ある危機に対してハザードマップをどのように活用していくのか。また、今後どのように改善していくのか。</p>
<p>2 平成23年度予算執行状況について</p>	<p>(1) 平成23年度当初より、予算執行が困難と聞かれる事業（南部陶芸場設置事業等）があるが、その予算執行の現況と今後の対応について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長・市議会議員選挙について</p>	<p>(1) 平成23年度予算では、市長・市議会議員選挙の予算は約8,500万円計上されている。以下について問う。 ア 実際にいくらかかったのか。また4年前はどうだったのか。 イ コスト削減に向けてどのような取り組みをしたのか。 (2) 市長・市議会議員選挙のコスト削減のために下記の取り組みを検討したか。 ア ポスター掲示場の設置場所の削減（現在283か所）について イ ポスター掲示場のサイズ及び材質について ウ ポスターの公費負担額の引き下げについて エ 選挙運動用自動車の公費負担の引き下げについて オ 各投票所の派遣従事者の削減について (3) 投票率アップのため何をしたのか。</p>
<p>2 東日本大震災対策について</p>	<p>(1) 現在までの当局の対応について以下のとおり問う。 ア 支援金、支援物資、人的支援の内容について イ 避難者の受入れ状況（公共施設及び個人宅）について ウ 相馬市に偏重しているのではないか。 エ 支援物資を輸送した運送会社は完全なボランティアか。 オ 当市の予算から累計いくら支援したのか。 (2) 放射能対策について ア 市独自の測定を実施することになったが、結果について市民への告知はどうするのか。 イ 測定数値が上がった場合の対応はどうするのか。 (3) 市内住宅の耐震化について ア 住宅の被害状況について イ 「耐震補強助成制度」を改善する考えはないか。 (4) 被災地への今後の支援について ア 「日帰りボランティアバス」について</p>
<p>3 教育行政について</p>	<p>(1) 小山小学校PFI事業のシンポジウムについて ア シンポジウムの内容について イ シンポジウムの成果を今後どう生かすのか。 (2) 小学校の英語教育について ア ネイティブスピーカーのスーパーバイザー活用の現状と将来展望について イ 韓国小学校とのTV会議について</p>

質問事項	要 旨
1 流山市の防災対策について	<p>(1) 流山市で定めている避難所の耐震化の状況について問う。</p> <p>(2) 防災行政無線設置の現状と、今後の設置計画について問う。</p> <p>(3) インターネット、携帯電話による安心メール等の活用が難しい高齢者や障がいのある方等に対する緊急情報の伝達システムを早急に構築すべきと考えるがどうか。</p>
2 ぐりーんバス運行事業について	<p>(1) ぐりーんバス運行事業の実情について問う。</p> <p>(2) 一度廃止になった美原ルートについて、廃止に至る経緯と今後の再開の可能性について問う。</p>
3 母子家庭等における医療費の支払い方法について	<p>(1) 現在、母子家庭等における子どもの医療費は、償還払いとなっているが、母子家庭等においては経済的負担も大きい。証明書を発行するなどして、現物給付とすべきと考えるがどうか。</p>
4 環境保全について	<p>(1) 新市街地地区と三輪野山地区を結ぶ都市計画道路3・4・5号加市野谷線を横切る野生のキジ、タヌキ等への対応について問う。</p>
5 流山おおたかの森駅北側の市有地の活用について	<p>(1) 土地活用基本方針の年内策定を進めているが、文化施設、ホール、ホテル等の計画はあるのか</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	(1) 過去 8 年間の総括及び今後 4 年間の市政において一貫して「1 円まで活かす市政」と声高に言われているが実態をどう捉えているのか。
2 新川耕地有効活用計画について	(1) 新川耕地有効活用計画の現状をどのように捉えているのか。 (2) この計画を今後どのように具現化しようとしているのか。 (3) もし、この計画が単なる「絵に描いた餅」で終わるとすれば、本市の歴史的汚点になると思うが、当局はどう認識しているのか。
3 地産地消の拠点としての農産物直売所について	(1) 農産物直売所については年度内にも開設予定とのことであるが、現在の進捗状況はどうか。 (2) 市内農産物生産者と近隣商業者の連携に向けた調整はどのようになっているのか。 (3) 施設の設置場所、施設規模、運営主体などはどのようになるのか。
4 市民総合体育館の整備計画について	(1) 総合運動公園の位置づけはどのような構想の中にあるのか。 (2) 総合運動公園内にある他のスポーツ施設との整合性はどうか。 (3) 市民総合体育館の設置目的、規模、設置場所、完成年度等は具体的にどうなっているのか。
5 小中一貫校の整備計画について	(1) 前教育長の時代に計画された小中一貫校の整備計画を後田教育長はどのように認識されているのか。 (2) 本計画の進捗状況について問う。 (3) 将来的に小中一貫校をどのように展開しようとしているのか。
6 幼児教育研究室について	(1) 具体的な運用計画はあるのか。 (2) 幼保一元化を模索しているこの時期に子ども園にしなかった根拠は何か。また幼児教育研究室の目的は何か。 (3) 研究の成果をどこでどのように活かすのか。

質問事項	要 旨
<p>1 震災時における福祉会館の休館について</p>	<p>(1) 3月11日の東日本大震災の発生に伴い、福祉会館を休館とする措置を取ったが、その対応状況と影響について問う。 ア 休館や閉鎖した公共施設の状況 イ 福祉会館休館に当たっての理由 ウ 利用者への影響と反応 エ 休館とする意思決定の経緯 オ 休館決定後、一部の利用者へ利用を認めた経緯と理由</p>
<p>2 防犯灯の倒壊について</p>	<p>(1) 今回の大震災により、金属ポール形式の防犯灯が倒壊した場所があった。幸い人的物的被害はでなかったが、その管理責任について問う。 ア 老朽化を懸念し、要望書を出している自治会もあるが、市としての現状認識を伺いたい。 イ 倒壊し道路に倒れるなどして、通行人や車などに被害が出た場合、管理責任は、維持管理している自治会が負うべきものなのか。 ウ 倒壊していない同形式の防犯灯が数多く市内全域に存在していると考えられるが、市として今後どのような対応を考えているのか。</p>
<p>3 震災避難者の調査方法について</p>	<p>(1) 被災者の方々が流山市に避難され生活をされている。その実態調査が行われたが調査方法について問う。 ア 今回の調査の目的と避難者の状況について イ 調査を民生委員に依頼し実施したが、民生委員に依頼した理由は何か。 ウ 避難された方々に対して、自治会として継続的に関係を持ち、日常生活においてもケアをしているところもある。今回の目的や調査に要する時間を考えると自治会の活用は検討されなかったのか。</p>
<p>4 初石公民館前道路の安全確保について</p>	<p>(1) 西初石3丁目交差点から初石駅前を通り、初石公民館前を通る道路は交通量が多い道路である。しかし歩道がないことから、歩行者にとっても、また運転者にとっても危険な状況になっている。歩道整備が進むことを望むが、市としての現状認識と、今後の展望について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 危機管理体制の整備強化について市長に問う</p>	<p>(1) 危機管理体制を強化する観点から流山市地域防災計画を具体的にどのように見直すのか。 (2) 指定管理者に業務委託している公共施設が増えているが、危機管理に対する綿密な連携はとれているのか。 (3) 市役所閉庁後における市民からの情報提供や伝達を的確に行うため、守衛室の強化を図るべきと思うがどうか。 (4) 被災者の情報を一元的に管理できる「被災地支援システム」を流山市でも導入してはどうか。</p>
<p>2 運河駅周辺のまちづくりについて</p>	<p>(1) 運河駅の自由通路・橋上駅の建設工事が7月1日より着手すると聞いている。以下3点について問う。 ア 駅舎建設と東口駅前広場及び駅前道路の整備の見通しについて イ 建設工事中における駅利用者や地域住民の安全対策について ウ 新たな駐輪場の受付状況と、駅舎完成後の駐輪場の確保について (2) 利根運河の柏市寄りの方向に、環境にマッチした歩道橋の設置の要望があるが、その可能性について問う。</p>
<p>3 市民生活に密着した条例制定の取り組みについて</p>	<p>(1) 昨年12月議会の一般質問で提案した条例や指針の策定について改めて当局の見解を問う。 ア 大規模解体工事に関する指針について イ 空き地の草刈りに関する条例について ウ 「流山市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例」における犬のフン害に対する実効性について</p>
<p>4 保健福祉行政について</p>	<p>(1) 在宅介護の実態調査をどのように行い、流山市高齢者総合計画に反映させていくのか。 (2) 松戸健康福祉センター（松戸保健所）の窓口業務の一部を流山市で取り扱い、市民の利便性向上に寄与すべきと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 議会制民主主義と二元代表制における市長と議会、市民との関係について</p>	<p>(1) 議会制民主主義と二元代表制における市長と議会、市民との関係について、市長は、どのように捉えているのか。</p>
<p>2 選挙運動のあり方について</p>	<p>(1) 選挙運動のあり方については、それぞれ自由であると考えているが、権力分離の二元代表制下においては、市長立候補者と市議会議員立候補者による選挙運動は、ある程度の節度が必要と考える。市長は、この節度（ライン）を具体的にどの辺に引いているのか。</p>
<p>3 農業委員会委員の議会推薦枠定員削減における議論のプロセスについて</p>	<p>(1) 農業委員会等に関する法律第12条第2項には、「当該市町村の議会が推薦した農業委員会の所掌に属する事項につき学識経験を有する者四人(条例でこれより少ない人数を定めている場合にあつては、その人数)以内」と記載されている。つまり、議会推薦の定数に関する裁量権は議会にあると考えるが、執行部の見解について問う。</p>
<p>4 流山市独自での放射線量調査に踏み切った決断背景について市長に問う</p>	<p>(1) 平成23年5月26日に開催された臨時議会の緊急質問において、市長は「当面、市独自での測定は考えていない。」と明確に答弁していたが、6月6日から、市独自での測定に踏み切ることを、6月3日の夕刻に決断した背景について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 指定管理者の選定について</p>	<p>(1) 流山市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第2条に緊急の場合と合理的な理由があるとき以外は公募することになっていることについて問う。 ア 例外的に、公募せず指定管理者を指定したことはあるのか。 イ ある場合は、その施設名、指定管理者名及び公募しない理由は何か。また、公表されているのか。</p> <p>(2) 指定管理者選定委員会の設置及び運営に関する要綱第4条第1項第6号に「その他必要に応じて学識経験のある者」とあるが、今までの選考に際し、当該条項を適用したことはあるのか。</p> <p>(3) 指定管理者制度導入にかかる指針で、指定管理者選定委員会が非公開となっている理由について問う。</p> <p>(4) 公民館、福社会館、生涯学習センターや市民総合体育館等、使用用途が異なった施設を委託する場合に評価基準の違いはあるのか。</p>
<p>2 シティセールスプランについて</p>	<p>(1) 震災前に素案が完成し、パブリックコメントは実施されたが、ほぼ大きな修正もなく策定されている。シティセールスとして震災後に変更しないで問題はないのか。</p> <p>(2) 今年の流山おおたかの森駅前等のイルミネーション・イベントはどの程度の電力使用になる予定か。</p>
<p>3 エコへの市民意識改革の推進について</p>	<p>(1) 平成20年度にごみ袋の有料化を検討したが議案として上程されなかった。その理由について問う。</p> <p>(2) 今回リサイクル資源（プラスチック以外）は自治会等の集団回収のみになるということ及びリサイクルマークのついたプラスチックとその他のプラスチックに更に分別するということであるが、それに際して、有料ごみ袋の販売も再検討したらどうか。</p> <p>(3) 夏の節電対策として、クリーンセンターの自家発電をフル稼働させ発電量を増やしたらどうかと考えるが、点検で休ませている炉の日数を減らしたり、他の自治体のごみを請け負い、発電量を増やすことはできないか。住民との申し合わせがあるとのことだが、東日本大震災で事情も代わり、3炉フル稼働は了承の範囲とも考えられ、それにより売電ができるのであれば再検討する余地があるのではないのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢を問う</p>	<p>(1) 平成23年3月11日に発生した東日本大震災はわが国の政治・経済のあり方を鋭く問うものとなっているが、市長の基本的認識を問う。</p> <p>(2) 東京電力福島第一原子力発電所の事故で問題点が明らかになった今、原発からの撤退を決断し、原発ゼロへと進むべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 災害に強いまちづくりについて</p>	<p>(1) 東日本大震災という経験したことのない大災害に直面し、流山市はどのように対応してきたのか。</p> <p>(2) 災害から市民の命をまもるため、福祉と防災のまちづくりに最優先で取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>ア 防災計画の抜本的な見直しについて</p> <p>イ すべての公共施設の耐震化を急いで進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 消防職員や福祉関係職員の増員について</p> <p>エ 特別養護老人ホームや保育所（園）を増設し、入所待ちを解消すべきではないか。</p> <p>(3) 不要不急のつくばエクスプレス沿線巨大開発を凍結し、抜本的見直しに着手すべきではないか。</p>
<p>3 介護保険について</p>	<p>(1) 介護保険法の改定について</p> <p>ア 市民の切実な介護要求に応えるものになっていると認識しているか。</p> <p>イ 「総合事業」により、要支援者から従来のサービス（保険給付）を取り上げるべきではないと考えるがどうか。</p>
<p>4 南部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 三輪野山地域の浸水被害と大規模道路計画から、住民の安全と住環境をどう守っていくのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 東京電力福島第1原子力発電所の事故・放射能汚染から市民の命と暮らし、健康を守る対策について</p>	<p>(1) 市の防災計画の中に「放射能汚染対策」を位置づけることについて</p> <p>(2) 市民に放射能に関する正確な知識を身に付けてもらうため、市として啓発・学習活動を行うべきではないか。</p> <p>(3) 人体の蓄積される放射能への対策として、医療体制の充実を行うべきだと思うがどうか。</p> <p>(4) 公園や学校の汚染された砂の除去と入れ替えなど、様々な被害に対して、その補償を国と東京電力に対して求めるべきだと思うがどうか。</p>
<p>2 通学路の安全確保について</p>	<p>(1) 通学路における交通事故の未然防止のために、どのような対策をとっているか。</p> <p>(2) 江戸川台西4丁目190番地先交差点の危険性を認識していたか。</p> <p>(3) 事故が頻発している交差点に信号機設置の考えはあるのか。また、信号機設置までの間の何らかの対策が必要だと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大地震で浮き彫りになった問題点について問う</p>	<p>(1) 先の大震災での被災者が流山市に避難してきている実態把握と対応について (2) 地震によって地盤が弱い道路の亀裂や振動が酷くなっているが抜本的な改修を急ぐべきではないか。 (3) 東京電力福島第 1 原子力発電所の事故による放射能土壌汚染等の処理対策について</p>
<p>2 生活保護行政について</p>	<p>(1) 被保護者の働ける年齢層に対し保護期間の更新制度の導入や、医療費の自己負担を持ち込むなど改悪されようとしている。自治体の長として憲法第 25 条を守り、国に対して生活保護費やケースワーカーの人件費の負担を求めるべきではないか。 (2) 医療を受ける権利を保障するため医療証を発行すべきではないか。</p>
<p>3 まちづくりについて</p>	<p>(1) 都市計画道路 3・4・10 号市野谷向小金新田線の立体交差事業の断念の方針は評価するが、当地の歩行者の交通安全対策を促進すべきではないか。 (2) 名都借跨線橋の耐震化を急ぐべきではないか。 (3) 向小金 1 丁目 243 番地先の跨線橋の改善について (4) 向小金、前ヶ崎ルートのごりーんバスの進捗状況について (5) 野々下 2 号雨水幹線工事の進捗と「ユスリカ」対策について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) り災証明制度について問う。 ア 3月11日以降、現在までの発行状況と制度の周知徹底について イ 税や国民健康保険など各種条例・要綱・規則における負担軽減制度及び児童扶養手当など福祉制度における特例条項の具体化と利活用について ウ 住宅改修と一体で、住まいの耐震化・民需拡大に伴う地域経済の活性化等を促進するために『(仮称)住宅リフォーム助成制度』の創設について</p> <p>(2) 相馬市への支援について問う。 ア 姉妹都市であり、『災害時の応援に関する協定書』を結んでいる相馬市への支援について</p> <p>(3) 流山おおたかの森駅周辺における災害避難場所の確保について問う。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) おおたかの森地区に計画されている小中併設校について問う。 (2) 西初石中学校、常盤松中学校に提供されている学校給食は直営方式として大きな成果を挙げていると認識しているが、見解を問う。</p>
<p>3 子どもの福祉について</p>	<p>(1) 保育所(園)の待機児童の現状と、今後の取り組みについて問う。 (2) 保育所(園)の新增設については、地元事業者を積極的に活用できる方策を早急に具体化すべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の防災行政無線等の緊急時の広報手段について</p>	<p>(1) 東日本大震災を通じて、防災行政無線等が重要な施策であることを再認識した。そこで以下について問う。 ア 防災行政無線の現在の整備状況、課題と今後の整備充実をどのように図って行くのか。 イ J-Alert (全国瞬時警報システム) との連携について、どのように考えているか。 ウ 緊急告知FMラジオは効果が期待できる。さらに IP 告知端末システムは防災情報のみならず大変付加価値の高いシステムと考えるが当局の見解はどうか。</p>
<p>2 消防分団の現状と課題について</p>	<p>(1) 少子高齢化社会の中、消防団の現状と課題について問う。 ア 消防団員の確保が困難と聞いている。今までの消防団員数の推移と現在の状況、今後の見通しはどうか。 イ 流山市消防団協力事業所表示制度について、制度の効果と、事業所のメリットをどのように評価しているか。 ウ 団員不足を装備でカバーすることも考えられるが、消防団の装備は現在の社会実情に合致しているのか。 エ 操法訓練については芸術的な動作に感銘を受けるが、実際の消防活動においては標準作業手順というのがあると聞いている。そこで、訓練と実際の活動の違いについて当局の見解を問う。</p>
<p>3 空き家・空き地等の適正管理について</p>	<p>(1) 本市は新規住宅の供給が活発で人口は増加傾向です。しかし、既存住宅地では空き家が増加しています。そこで以下について問う。 ア 本市において、空き家・空き地の現状はどんな状況でしょうか、状況把握と今後の見通しについて伺います。 イ 空き家・空き地の管理をめぐる近隣住民からの苦情はどのようなものがあるか。そして具体的に対応した事例はどのようなものがあったか。 ウ 空き家・空き地の問題については、家屋の倒壊など危惧されるところであるが当局はどのように考えているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市情報化推進計画について</p>	<p>(1) 行政サービスのICT化にあわせた、市民のICT能力の向上が必要と考えるが、その対応について問う。</p> <p>(2) 公共施設のICT化について問う。 ア 市内の図書館でのパソコンの利用頻度及びインターネットの利用頻度はどのくらいか。また周知の方法はどのようにしているのか。</p> <p>(3) 情報通信インフラとしての市全体のICT化について問う。 ア 地方自治体に最近増えている公共無線LAN化についてどう考えるか。</p>
<p>2 防災対策について</p>	<p>(1) パソコン・携帯電話を使用しない市民への配慮について問う。 ア 先の計画停電のお知らせなど、パソコン・携帯電話を使用しない方々への配慮は十分であったのか。また今後の対応についてどのように考えているのか。</p>
<p>3 次期介護保険事業計画について</p>	<p>(1) 次期介護保険計画の策定手順はどうなっているのか。</p> <p>(2) 特養施設の設置について問う。 ア 特別養護老人ホームの待機者数を考えると、施設数が少ないと考えるが、東部地域における設置計画はあるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 都市計画道路3・4・10号市野谷向小金新田線について井崎市長に問う</p>	<p>(1) 整備計画について (2) 防災上の避難路としての役割について</p>
<p>2 向小金地区の公共下水(汚水・雨水)の整備について</p>	<p>(1) 公共下水の現状と今後の予定について (2) 雨水排水の現状と対策について (3) JR東日本との打ち合わせ状況について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の基本姿勢について</p>	<p>(1) 今回の選挙結果に対する見解を問う。 (2) 選挙公約（マニフェスト）について問う。 (3) 「3期」という任期に対する基本的な考えについて問う。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 教育長の基本姿勢について問う。 (2) 教科書採択について基本的な考え方について問う。</p>
<p>3 まちづくりについて</p>	<p>(1) 江戸川台駅西口整備について問う。 ア 今後本格的に整備を進めていく中で、地域性・将来性も含めた視点を取り入れるべきだと思うがどうか。また、千葉都民対策として広範囲かつ現役世代の方へのヒアリングなども強化すべきだと思うがどうか。 (2) ぐりーんバス政策について問う。 ア 交通弱者を考慮し、既定の時刻表の中にも柔軟なルート設定や時刻表設定をすべきかと思うがどうか。 イ 料金体系の一つとして定期券やイベントパス導入の可能性について検討すべきだと思うがどうか。 ウ 千葉都民対策、安心安全の観点から運行時間の延長を検討すべきだと思うがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 福島第一原発事故に伴う放射線対策について</p>	<p>(1) 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う流山市の保育所(園)・幼稚園・小中学校の放射線量の実態と子どもたちの安全確保のための対応について問う。</p> <p>ア 成長期にある子どもへの放射線の健康影響について、保護者は、不安を募らせている。流山市は、保育所(園)・幼稚園・学校等の校庭や園庭において、子どもたちが、体に受ける放射線量が、年間で、どの程度までならば、健康への影響が無く、安全であると考えているのか。また、その数値は、毎時に換算するとどの程度になるのか。その数値は、どのような科学的根拠に基づく数値であるのか。市当局の見解を問う。</p> <p>イ 放射線量が、子ども達への健康に影響が考えられる測定地点については、測定数値が健康に影響は無いと判断されるまでの間、子ども達の健康を守るために、早急に教育や保育の現場でできる、放射線の健康影響を減らすための対応を図るべきと考えるがどうか。また、家庭でできる放射線の健康影響を減らすための対応についても、夏休みを前にして、早急に正しい情報を保護者に提供すべきと考えるがどうか。さらに、子ども達への健康影響について、6市による「(仮称)東葛地区放射線量対策協議会」及び専門家や千葉県を含めたワーキンググループ等で対応を協議・検討し、その結論を速やかに公表し、早急に子ども達の健康影響を減らすための対応を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ インターネット等では、関東の放射線のホットスポットとして、流山市、柏市、松戸市等の名前が掲載されており、子育て家庭に多大な心配や不安を与えている。流山市は、風評被害をなくすためにも、放射能等の正しい情報を早く正確にわかりやすく、市民に知らせていくことが大切である。そのために流山市は、放射線量の測定結果の公表にあたっては、ホームページや広報、安心メール等を活用してどのような努力をされているのか。また、市民や、子育て家庭の保護者の不安を解消するために、流山市として放射線の専門家を招いて講演会等を開催すべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 太陽光発電パネルの全小中学校への設置について</p>	<p>(1) 災害時の避難所である全小中学校に太陽光発電パネルを計画的に設置して、自然エネルギーの活用による電力確保やCO2の削減、各学校におけるエネルギー環境教育の推進、災害時の緊急予備電力としての活用等を図るべきと考えるがどうか。</p>
<p>3 健康施策について</p>	<p>(1) 脳ドック検診の助成事業を実施すべきと考えるがどうか。</p>

4 公園行政について	(1) 野々下水辺公園の駐車場及び自転車駐車場整備の進捗状況と今後の見通しについて問う。
5 向小金地域の都市基盤整備について	(1) 都市計画道路3・4・10号市野谷向小金新田線の整備について (2) 向小金雨水幹線整備と向小金2丁目から4丁目にかけての公共下水道整備の進捗状況と今後の見通しについて問う。
6 グリーンバス事業について	(1) 向小金・前ヶ崎地域のグリーンバス事業の進捗状況と今後の見通しについて問う。 (2) 松ヶ丘ルートと野々下ルートを接続し、南柏駅から流山おおたかの森駅までのグリーンバス路線を開設すべきと考えるがどうか。
7 交通安全対策について	(1) 向小金福祉会館前から、たけの子ルーム前までの通学路の歩道拡幅整備の進捗状況と今後の見通しについて問う。 (2) 香取神社前交差点の横断歩道の設置及び歩車分離式(スクランブル)信号機の設置等の進捗状況と今後の見通しについて問う。 (3) はやぶさの森の住宅地と長崎小学校を結ぶ通学路の歩道拡幅整備の進捗状況と今後の見通しについて問う。